

「戦争体験語り継いで」

田村立吉

昭和16年12月8日の朝、大宮村立大宮南国民学校（昭和16年より尋常小学校が変更）5年生の時です。学校のラジオは校庭に向けて放送しています。ときの首相東条英機（陸軍大臣）の放送
大本営発表「本日未明米英両国と戦闘状態に入れり」宣戦布告の放送
続いて軍艦マーチの音楽が勇ましく鳴り響く、日本海軍は350機をもってハワイ真珠湾軍港を奇襲攻撃して戦果は飛行機特殊
潜航艇により有名なアリゾナ戦艦その他アメリカ太平洋艦隊を全滅
させる、次々と入るニュースに「ヤッター」「ヤッチャイ」と言って
集まってきて手叩きです。（その日の後のことは思い出せない。）

私は昭和18年（学校6年生より）栃木市立（戦後県立となり男女共学となる。）栃木商業学校入学（男子中等学校5年制）、次年度からは工業学校となり、商工学校生でありました。日本軍はわずか5か月でアジア各地を占領した。2年生の頃ミッドウェー海戦より戦況不利のため学徒動員を命じられて、出征兵士の農家の手足のため、私は当時、家中村に行った。

その後、学徒動員として両毛線おまたで小俣（足利市）駅で降り工場に行く。（同じ汽車で栃女生も「女子挺身隊員勤労ていしんたいいんきんろう」にて“かすりのもんぼうくうずきんぺ防空頭巾を背にした姿”で、手前の山前やままえ駅（足利市）で降りる。）
織物工場おりものでしたが軍需工場ぐんじゆになり、中島小泉飛行機製作関係にあり、
ここでは零式戦闘機ぜろしきせんとうきの後部「ツバサより下部」を組み立てた。

ある日製造の鋸びよう打ちを教えられ2人で向かい合っしてする作業で失敗（おしゃかという。）指導の工員の人ひとは笑って怒らない。どうせ沖繩まで飛べばいい。敵艦てきかんに体当たりするんだ。[1機1艦かん]先輩の若い多数学徒が軍人として神風特別攻撃隊かみかぜとくべつこうげきたいで生命とを賭して任務すいこうを遂行して殉じゆんじたのだ。（申し訳ない）

時には学校に行くと軍事教練（大正時代より男子中等学校以上には軍事教練が義務付けられていた。）陸軍現役配属将校の指揮で校長はサーベル（簡易な刀）さきを捧げ壇上だんじょうに立って学生の隊列行進をするのを観る。先頭には進軍ラッパを吹いて行進する。威厳いげんのあること。
あるとき私たちの隊列（足並）が合わず笑ってしまった。後で横ビクタ（向かい合っしてやる。）せんぱい先輩に殴り役がいる海軍の精神棒と言って6尺棒で尻を殴りつける。私もやられた痛みと悔しさは忘れられずこの記事に載せました。「匍匐前進ほふく」（地面に腹ばいになって進む。）

等もする。

にちろ 日露戦争で使ったものという、数本あるとても重い銃^{じゅう}の手入れを
ぶんかいそうじゆ 分解掃除油で^ふ拭く。その銃^{じゅう}を持って当番交替^{こうたい}で朝校門(北口)に立っ
て先生が来ますと「^{ささ}捧げ銃^{つつ}」と大きな声で言っていたします。力の
ない私はよろけてしまった。

夜行訓練あり。午後5時より^{はいのう}背囊(カバン)、足はゲートル巻き(栃
商生の正装、栃中生は日露戦争当時の白のキャハンでした。)太平山
のふもと(東側)を回り^{てるいしさん}晃石山に登り太平山の六角堂の道に来て下
りる。午後8～9時ともなるので終電車いっぱいです。後くれて我
が家に泊めた小山市の同級生あり。

北門のある校舎の北側は「タコツボ」と言って2～3人用の小さ
な防空壕^{ぼうくうごう}を掘った。19年都市部への空襲^{くうしゅう}が激化するや学童疎開^{そかい}と
いう同級生もいた。

校舎の床をぶち抜いて^{ぐんじゆ}軍需工場にする。小俣工場^{おまた}で覚えた飛行機
の組立(^{びょう}鋸打ちも上手になった)をすることになり^{こわ}壊す作業を手伝
い工場にて3機位か、出来たと思う、出荷せず終戦になりました。

軍人勅語^{ちよくご}あり暗記した。一つ軍人は忠節を尽くすを本分とすべし。
五か条あった。言えないとビンタあり。不動の姿勢もよろける。当

時の軍事に関する軍事教科書、まんがの本（戦争に関係するもの）終戦まもなく町内会の命令にて供出したことで無いので、思い出せないのが残念です。

上級生は上官である。道であった時は手を上げて敬礼すること、忘れたらビンタあり。上級生もそのうち学徒動員で日光古河精銅所^{せいどう}へ行ってしまう。また4か年制度で卒業できることになった。（卒業生として兵役になれる。）先輩^{せんぱい}が志願して送別会はグラウンドの芝^{しば}の上でいつも歌うのが「ズンドコ節」

先輩^{せんぱい}が特攻^{とっこう}に行く知らせあり。飛行機で母校（栃商）上空^{せんかい}を旋回する。皆で手を挙げた。見たのかツバサを振って去りゆく。いつか来た講堂で見た白服で7つボタンであの予科練の先輩かなと思った。

芝塚山^{しばつかさん}には防空監視所^{かんし}が置かれていた。

私も少年飛行兵にあこがれた。志願した。（宇都宮市で行った。）不採用理由は長男は家を守ることにあり、銃後^{じゅうご}を守るようとのことでした。また学校での希望者には海軍による訓練、日光中禅寺湖^{ちゅうぜんじこ}でボートを漕ぐ訓練、ツバなし帽子^{ぼうし}の水兵さん「大日本帝国海軍^{ていこく}」と前面に書かれていた。楽しい1日でした。

町内の事になります。役場から赤紙^{へいえき}がくる。兵役^{げんえき}の通知書^{げんえき}現役の

兵士が不足するので、徴兵検査ちょうへいけんさの合格者より少しぐらいの体格が落ちても補充兵ほじゅうとしての通知が来る。

いざ出征しゅっせいが決まると日の丸に寄せ書きする。先頭しゅっせいに出征兵士の旗、奉公袋ほうこうぶくろを提げている。送る行列は白いエプロンに白たすきに「大日本国防婦人会」の文字。町内の人、皆日の丸の小旗を振り振り軍歌日本陸軍を歌う。”天に代わって不義ふぎを討つ 忠勇無双ちゅうゆうむそうの我が兵は 歡呼かんこの声に送られて 今ぞいで立つ父母の国 勝たずば生きて 還かえらじと 誓ちかう心の勇ましき。

我が家から町内の神社に向かう、武運長久ぶうんちようきゆうを祈いのって「行ってきます」「まいります」「行きます」。(特攻隊とっこうたい)と元気にあいさつします。その後数人で栃木駅に行く。只今町内の墓地に多くの英霊えいれいの刻まれた石碑せきひがあります。謹つつしんで哀悼あいとうの誠まことを捧ささげます。

昭和20年3月工場で公用の電車切符きっぷ(無料)をもらったので浅草に行った。観音様かんのんさまの裏の方に池があった。数人の着物を着た女の人が浮かんでいた。2～3日前の空襲らしい。片付ける人がいないのか、悔しさと戦争の残酷ざんこくさを実感した。

原爆の恐ろしさに困った日本国だが、1億総玉碎ぎよくさいを唱せんとうえて戦闘せんとう継続けいぞくを指向しこうした。しかし、昭和20年8月15日、突然天皇の玉音ぎよくおん

放送があると知らされて教員室前の廊下^{ろうか}で聞く。何のことやら私にはわからないでいたが「終戦^{しゅうせん}詔勅^{しよくちよく}の放送」と知らされて戦争が終わったのだと周りで騒ぐ^{さわ}のでなんだか困ってしまった。

アメリカ機から投下する広告ビラは何日はどここの爆撃^{ばくげき}の日程らしい。(拾ってはいけない、見たり、しゃべってはいけないとされて憲兵＝兵隊の巡査が取り締まっている。) 権力強い。

最後になります。栃木市も16～18日頃に空襲^{くうしゅう}のうわさが流れていた。親類^{ひなん}の人が避難していたことあり。今日の蔵の町並みがあることに感謝し、先の大戦で犠牲^{ぎせい}となった方々に、深く合掌^{がっしょう}いたします。